

# JR東海労ニュース

No.1594

2011年8月25日

JR東海労働組合

中央新幹線計画段階環境配慮書の公表について経営協議会開催

## リニア中央新幹線計画は中止すべきだ！

### 申し入れに対し業務委員会等協議の場を設けること！

本部は、8月24日「中央新幹線計画段階環境配慮書の公表について」経営協議会で会社から説明を受けました。

会社は、その内容について「対象計画区域および事業実施想定区域」「主な環境配慮事項」等について説明をしました。

組合からは、「・バイパスや地震対策を理由とした建設の必要性はない、直ちに中止せよ。・2010年3月期以降建設を進める前提の収入に達していない。・東京～名古屋5.1兆円、大阪までの8.44兆円の建設費の根拠を明らかにせよ。・建設中に5兆円を超える長期債務と建設費の調達に不安がある。・電力の供給、開業後の東海道新幹線の運行、組合の申し入れに基づき労使協議の場を設定すること。・建設費をおぎなうための賃金抑制や労働強化は絶対に行わないこと。・東京～名古屋27万キロワット、大阪までは74万キロワットの電力調達と使用量の根拠を明らかにすること。・本部は中央リニア新幹線計画に対し6回の申し入れを行っているが、申し入れに基づいた業務委員会等が一切開催されていない、労使協議の場を設定すること」等、会社に主張し、又、質問を行いました。

会社は「国土交通政策審議会で客観的検証をしてくれている。建設は、時々経営状況で柔軟に判断して進めていく」として具体的内容を明らかにしないまま、リニア中央新幹線建設を進めていく姿勢を改めて示しました。

**私たちは、JR東海を破綻させかねない様々な問題を抱えるリニア中央新幹線建設に反対です。会社は単に説明だけではなく、労働組合としっかりとした協議を行うべきです。**

2700系の2倍の電力供給確保はどどうする！

震災・景気の低迷で建設費・長期債務に大きな不安！